

文化いせさき

第11号



御嶽山 白龍神社 撮影者 秋山 暉

伊勢崎市文化協会

令和4年度伊勢崎市文化協会事業日程計画

伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。



期別	開催日	事業名	会場	
—	4/3	華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表会	華蔵寺公園野外ステージ	
第1期	令和4年	8/27	諸芸部門 発表会	境総合文化センター 大ホール・和室
		9/2～4	美術部門 総合作品展	境総合文化センター 展示ロビー・一般展示室
		9/4	洋舞部門 洋舞フェスティバル	境総合文化センター 大ホール
		9/4	茶道部門 茶会	境総合文化センター 茶室・和室
第2期	令和4年	11/19・20	自然部門 総合展	境総合文化センター 一般展示室他
		11/19	音楽部門 市民音楽祭	境総合文化センター 大ホール
		11/20	郷土芸能部門 郷土芸能大会	境総合文化センター 大ホール
第3期	令和5年	2/3～5	書道部門 書道展	境総合文化センター 小ホール・展示ロビー・一般展示室
		2/5	歌謡部門 発表会	境総合文化センター 大ホール
		2/11・12	華道部門 いけばな展	境総合文化センター 一般展示室
		2/11・12	文学部門 文学祭	境総合文化センター 展示ロビー
		2/12	民謡民舞部門 民謡民舞発表大会	境総合文化センター 大ホール
第4期	令和5年	3/18・19	写真部門 写真展	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 (伊勢崎市文化会館) 第2～5展示室
		3/19	邦楽舞踊部門 邦楽舞踊のつどい	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 (伊勢崎市文化会館) 大ホール
		3/19	吟剣詩舞部門 吟剣詩舞の集い	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 (伊勢崎市文化会館) 小ホール

編集後記

今年度(令和三年度)は、伊勢崎市文化協会十五周年にあたり、記念事業を計画していましたが、引き続き新型コロナウイルス蔓延の影響のため、変則的な事業開催となつてしまいました。

記念事業に参加する部門と、参加を見送る部門に分かれたため、当「文化いせさき」の編集作業も大幅に遅れてしまいました。

このような状況で、各部門の原稿執筆担当の方々もずいぶん苦労されたようで、読者の皆様もそのあたりを読み取っていただければ幸いです。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから、間もなく三年になろうとしています。相変わらず感染者数は増加、減少を繰り返していますが、重症化リスクが低下したためか、また、コロナ慣れのため世界的にも随分落ち着いてきた感じがします。そう遠くないうちに、会員の皆様の、かつてのような活発な活動を見ることができると期待しています。

石田 英生 記

|| もくじ ||

伊勢崎市文化協会 会長 新井 哲郎	あいさつ	2
展示部門	丸橋 孝男	3
・華道部門・茶道部門		4
・文学部門・自然部門		5
・美術部門・書道部門・写真部門		6
舞台部門	川島 和美	7
・音楽部門・歌謡部門・邦楽舞踊部門		8
・吟剣詩舞部門・民謡民舞部門・郷土芸能部門・洋舞部門		9
・諸芸部門、令和三・四年度新規加入団体、伊勢崎市文化協会への新規加入案内		10
令和四年度 伊勢崎市文化協会団体名簿		11
令和三年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿		13
令和四年度 伊勢崎市文化協会功労表彰被表彰者名簿		14
伊勢崎市文化協会報編集委員名簿		15
令和四年度伊勢崎市文化協会事業日程計画、編集後記		15

伊勢崎市文化協会合併 15 周年に寄せて

伊勢崎市文化協会

会長 新井 哲郎



伊勢崎市文化協会は、平成19年5月15日に旧4市町村(旧伊勢崎市・赤堀町・東村・境町)の文化協会が統合し、新たなスタートを切ってから、15周年を迎えました。記念事業として、令和4年3月19日(土)から21日(月・祝)に伊勢崎市文化会館にて、伊勢崎佐波地域圏地域文化フェスティバル兼伊勢崎市文化協会文化祭を開催しました。本来であれば、伊勢崎市文化協会に所属する全15部門が一堂に会し、盛大に行われる予定でありましたが、新型コロナウイルスの影響により、参加を見合わせた8部門を除いた7部門による実施となりました。規模は縮小となりましたが、各部門がコロナ禍という厳しい期間に培った研鑽努力の成果を発表し、来場者に文化芸術を鑑賞する機会を提供することができたこと、加えて玉村町総合芸術祭と同時開催し、伊勢崎佐波地域圏地域文化フェスティバルとして開催できたことは、伊勢崎市のみならず、伊勢崎佐波地域圏の文化芸術活動の発展において大変意義深いものと感じております。

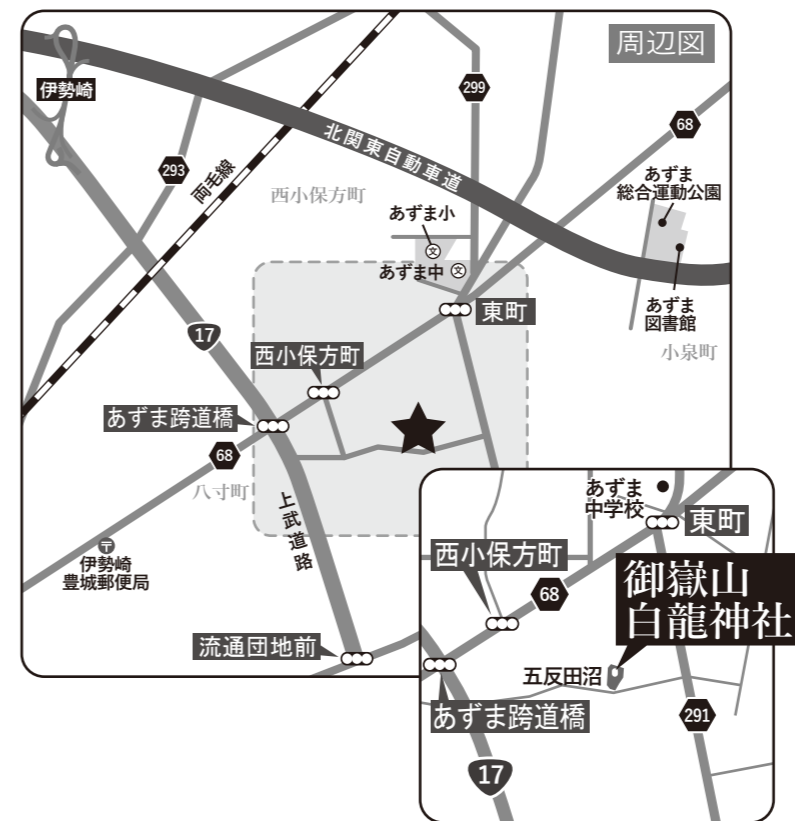
新型コロナウイルスは依然として収束の気配が見えませんが、どの時代にも豊かな生活と文化芸術活動は切っても切れない関係です。我々、伊勢崎市文化協会としては、先の文化祭の開催をコロナとの共生の第一歩とし、停滞していた文化芸術活動を再開し、地域の特色を活かした、個性豊かな文化芸術の継承と振興を力強く推進していく所存です。

日頃より伊勢崎市文化協会を支えて下さっている賛助会員を始めとする関係各位、事務局の皆様、並びに会員各々が文化の灯を絶やすまいという志を継続する力に心から感謝を申し上げ、あいさつとさせていただきます。

【表紙説明】
御嶽山白龍神社

木曾(長野県)の御嶽山に霊神場を造営する中で桑子智好(初代宮司)が白龍様にお目にかかり、御神勅を賜り「御山は健脚な者でなければ参ることが出来ぬ。年老いた者が孫の手を引いても来られるようにわれを佐波の郡に祀るように……」との仰せによりこの地に祀られ初代宮司左近守となりました。よってこの社に参拝するは御山と同等となりました。また、伊勢神宮徳川大宮司の協力指導により造営されました。

御嶽山白龍神社由緒より



展示部門

合併十五周年文化祭を終えて

丸橋 孝男

月日の流れは早いもので、四市町村合併し新たな文化協会が誕生して十五年になります。最初は期待と同時に戸惑いもありましたが、今では各関係機関や賛助会員等の支援を受け、各サークル、各部門の会員の交流も深まり、充実した活動を続けております。

さて、最近の状況ですが、舞台、展示部門を問わず、高齢化に伴う会員の減少、そして退会、更に追い打ちをかけるように新型コロナウイルス感染症防止策による公民館等、公共施設の使用ができない状態が続きました。従って、今回の文化祭も展示部門が七つある中、残念ながら華道と茶道部門については、コロナ感染の影響を考えて実施しませんでした。

美術部門については墨絵や水彩画を中心に、切り絵やフラワーアレンジメント、そして陶器や瓢箪による細工等が見事でした。ただ、油絵の作品がなかったため、さみしきを感じました。会場入口での「鬼滅の刃」の扮装は、皆さん楽しんでいただようです。

書道部門ですが、会員数が多いため社中ごとに出品数を決めておき(昨年出品の六割)、展示をしました。書道作品もいろいろなジャンルがあり、社中ごとに表現方法が異なり、表装も様々で変化に富んだ書道展になりました。日頃の努力の成果が発揮されたと思っております。

文学部門の会場に足を踏み入れると、身近な題材を扱ったわかりやすい短歌や、素晴らしい俳句が目につきました。季語を入れ、作者の言いたいことを五七五の十七字にまとめることのむずかしさ、今後もぜひ多くの句を残していただきたいと思えます。紙芝居も懐かしさを感じ、心が暖まる思いがしました。

写真部門は、三階第一展示室をフル活用し、大変見事な作品が並びました。私も写真を撮るのが好きなので何回も展示室に足を運びました。被写体を考えたり、何をねらって写すかなど、作品を通して学ぶことがたくさんありました。次回が楽しみです。

自然部門では、大小種々な盆栽や蘭、小鉢で育てているお花等、種類の大きさに感心し、感動しました。剪定や水、肥料やり、木に合った鉢も考慮する総合芸術だと思いました。今後も我々の目を大いに楽しませていただきたいと考えております。

伊勢崎市文化協会
各部門のあゆみ

華道部門

十五周年に寄せて

長谷川 恭子

伊勢崎市文化協会の合併十五周年記念の文化祭が、三月十九日(土)二十日(日)二十一日(月)の三日間、市文化会館で開催されました。十五周年の節目の、いけばな展として三十六名が、作品を迎え花の大作二作を発表する予定でした。

しかし、コロナ禍三年目に入り、いけばなは、どうしても会場で生ける作業があり、三密の問題で中止となりました。

さて、十周年記念の文化祭は、平成二十九年一月二十八、二十九日の二日間、文化会館で一階の西の二会場で三十六名が出瓶。十一回いけばな展は平成三十年二月三日、四日の二日間、伊勢崎市ふくしプラザ、ワークショップにおいて、雪の心配をしつつも実施いたしました。十二回は、平成三十一年二月十六、十七日に、ワークショップで実施。十三回は、令和二年二月八日、九日に実施。季節が早春なので、サンシュ、梅、マンサク、水仙、フリージア、スイートピーなど、色とりどりで甘い香

りが会場を包み、春爛漫の作品が並びました。四十八作品でした。十四回は、令和三年二月十三日、十四日、市役所東館に場所を変えて実施する予定でしたが、コロナ感染者増加に伴い中止になりました。

そして、十五周年のいけばな展も中止となりましたが、文化会館の二ヶ所に大作品を迎え花として生けました。一作品は北口、コンコース右側の中庭の前です。古流松藤会の会員により、ニメートルもある桜をデルフエニウムの青、ミモザアカシア、アリストロメリアの黄色、赤系のユリが引き立っています。

もう一作は未生流の会員により、アオキを高く、その中にデンファレの赤、周りにヒバ、レングヨウの飛ぶように咲く黄色、ユリが入る大作をホールホワイエ入口横に生けました。迎え花として花を添え、皆様に喜ばれました。



これからも日々研鑽努力して、より良い作品を制作し、より多くの方々に観て頂き、この伝統文化を広めて行きたいと思えます。

最後になりましたが、事務局の皆様始め文化祭に携わって下さいました大勢の方々、心より感謝申し上げます。

茶道部門

時の器

宮澤 春江

六十周期で回ってくる壬寅(みずのえとら)の年を迎えました。壬寅は厳しい冬を乗り越え、新しい芽吹きの際となると言われ、冬が厳しいほど華々しく生まれる年になり縁起の良い干支だそうです。

さらに、今年は何茶の大成者として知られる、千利休生誕五百年という節目の年にあたります。

しかしながら、昨年に引き続き年明け早々新型コロナウイルスが猛威をふるい、令和四年三月十九日、二十日伊勢崎市文化協会十五周年記念茶会、令和四年四月三日第五十回伊勢崎茶道大茶会が残念ながら中止になりました。

そんなある日、私ごとになりますが、道の駅の店内で桜色というより白に近い小さな桜を見つけた。桜と言えば日本の



春を象徴する花であり、美しき華やかさの代表花とも言えますが、天地にあふれんばかりに咲く万葉の桜の散り際の美は、散華した若い戦死者を想起させ哀しくなります。

しかし、楚々とした早咲き桜の切り枝を両手に抱くと、春の足音が幽かに聴こえてきて、背筋がピンと伸びます。桜の一枝があるだけで心が華やぎます。

土ものの器に生けた早咲き桜を愛でながら、自分の為に点てた抹茶を飲み干せば心が和らぎ、巣ごもり生活で閉塞的だった心の扉が静かに開きます。

この名もない萩の一椀は、私にとってはコロナ禍という時代の心の渇きを潤す時の器なのです。

一服の茶から一期一会の縁が生まれます。



心が豊かになる茶道文化が広がって行きますように。コロナ収束後の茶会の開催を心待ちにしています。干支の意を信じ、すべての人が笑顔で暮らせる世の中でありませうよう祈念しています。



文学部門

設立十五周年記念文化祭に参加して

吉沢 典子

令和三年度文化協会事業として予定されていた、伊勢崎市文化協会設立十五周年記念文化祭は、長びくコロナウイルス禍のため、伊勢崎市文化会館の施設を利用して規模を縮小して実施されました。

今年度の文学部門の各部の活動も、練習会場が、コロナ感染予防のため、一時、閉鎖されたりして、思うように、活動出来

なかつたサークルもあつたようですが、色々と工夫して、活動して来たサークルの発表の場が欲しいとの要望もあり、開催することとなりました。

そのような厳しい状況の中で実施された文化祭でしたが、天候にも恵まれ、記念式典、及び功労者表彰式典が実施されましたが、展示部門中心ではありましたが、日頃のサークルの発表の場が設けられ、関係者や家族、知人らが多く観覧に来て下さり、また、来年度も頑張ってくださいという気持が、湧いて来ました。



そして、事務局の方々には、会場のレイアウトやチラシ作成、配布等、大変お世話様になり、感謝申し上げます。

そして、来年度こそ、コロナが収束して、全サークル参加の下、作品展が開催されますよう願っております。

自然部門

コロナ禍の自然部門の変遷

青木 稔

自然部門は発足当時十三団体でスタートしましたが十五年を経た令和四年三月現在では八団体に大幅に減少してまいりました。団体数に比例して参加者も減少しております。

参加者の高齢化が進んだものと考えます。令和二年二月から蔓延し始めたコロナウイルスによりすべての部門別展示会が中止となり、所属各団体も会場の閉鎖や、コロナ対策で皆様と一緒に楽しむことができなくなることが原因であるかもしれません。

令和三年三月の文化祭には菊花同友会を除く七団体の展示ができ、久しぶりの展示会で出展者の皆様の力が入りました。

自然部門の各団体中で、石仏写真部門を除けば年間を通じて植物を育てることが共通項になります。日頃の活動の状態を紹介してみたいと思います。

私は、蘭恵会メンバーで日本の伝統植物である春蘭、寒蘭、えびね蘭、富貴欄(風蘭)を栽培しております。主力である「花物」春蘭を展示会に、出展するまでの育て方、楽しみ、苦しみを紹介してみます。

年間を通じて休みはありません。



- ①四月～五月 新芽の出芽
- ②六月～八月 新芽の育ち方
- ③九月～十月 花芽がつく
- ④十一月～三月 花芽が大きくなればキャップで完全遮光する。
- ⑤三月～五月 一番楽しい時期
- ⑥六月～八月 展示会に出品
- ⑦九月～十一月 品種本来の色(赤、黄、紫、白、複色)バランスが取れているか
- ⑧十二月～三月 植え替え

この繰り返しで、楽しみが続いて行くのです。

自然部門の各団体に、新会員が多数に参加していただき、継続して盛大なることを願っております。

美術部門

第十五周年を終えて

鈴木 茂

令和四年三月十九日(土)、二十日(日)、二十一日(月)の三日間、伊勢崎市分化会館において第十五周年記念総合作品展を徹底したコロナ感染防止対策を講じたうえで開催いたしました。いくつかの部門では、新型コロナウイルス禍で練習さえできず、不参加を余儀なくされた方々には残念と言う以外言葉ありません。

幸い、美術部門では、二階大会議室が会場となり、入口左側には迎え花が飾られ、気品あふれる華やかさが感じられ、心が癒されました。会場に入ってから時計回りに各サークルの作品が並べられ、全八サークルです。

最初が紫墨会、先ず目につく墨の濃淡で表す技量の高さ、絵画は光と陰と引算と言う言葉をお手本のような作品が揃っているのには感動させられました。

境水彩画会、水彩画独特の透明感の色彩豊かな表現は見事で、多年の努力の結果の表れで観る人の心をつかんで楽しませてくれました。

境きりえの会、紙を切り抜いて下地に白や黒、その他いろいろな技法で風景や人物を表して

いました。

原ノ城窯、焼物も多種多様な変化があり、壺や茶碗の普段使いの器から、小さめながら聖徳太子立像(二才像)や七福神、同じ作風で七体、人形、私の顔、老人の顔などあり、スタッフの説明で感心している様子で好評でした。



境フラワーアレンジメント、生花と人工花との組合せで全てが生きているようで心が潤います。

全日本愛瓢会、色と形、色彩の豊かさに圧倒されました。細かい模様や、漆を数十回塗る作業など気が遠くなる思いがしました。すてきです。

フラワーアレンジメント華、作品をうまく組合せ、楽しさいっぱいで魅力的で感動しました。

天然石ビーズアクセHAN A、色違いの創品のセンス、説明

等があれば良かったと感じました。

会員の減少は一時代の流れだと思えます。今後一層の技術向上をめざして努力を重ねて行きたいと思っております。

書道部門

第十五回書道展

藤枝 宣子

令和四年三月十九日から二十一日まで、伊勢崎市文化協会の文化祭が伊勢崎市文化会館において開催されました。係りの方から、検温、マスク、密にならないこと等注意がありました。

書道部門は三階第二室から第五室に展示しました。それぞれの社中の特色を活かした個性的な感性溢れる表現



自然部門

コロナ禍の自然部門の変遷

青木 稔

自然部門は発足当時十三団体でスタートしましたが十五年を経た令和四年三月現在では八団体に大幅に減少してまいりました。団体数に比例して参加者も減少しております。

参加者の高齢化が進んだものと考えます。令和二年二月から蔓延し始めたコロナウイルスによりすべての部門別展示会が中止となり、所属各団体も会場の閉鎖や、コロナ対策で皆様と一緒に楽しむことができなくなることが原因であるかもしれません。

令和三年三月の文化祭には菊花同友会を除く七団体の展示ができ、久しぶりの展示会で出展者の皆様の力が入りました。

自然部門の各団体中で、石仏写真部門を除けば年間を通じて植物を育てることが共通項になります。日頃の活動の状態を紹介してみたいと思います。

私は、蘭恵会メンバーで日本の伝統植物である春蘭、寒蘭、えびね蘭、富貴欄(風蘭)を栽培しております。主力である「花物」春蘭を展示会に、出展するまでの育て方、楽しみ、苦しみを紹介してみます。

年間を通じて休みはありません。



- ①四月～五月 新芽の出芽
- ②六月～八月 新芽の育ち方
- ③九月～十月 花芽がつく
- ④十一月～三月 花芽が大きくなればキャップで完全遮光する。
- ⑤三月～五月 一番楽しい時期
- ⑥六月～八月 展示会に出品
- ⑦九月～十一月 品種本来の色(赤、黄、紫、白、複色)バランスが取れているか
- ⑧十二月～三月 植え替え

この繰り返しで、楽しみが続いて行くのです。

自然部門の各団体に、新会員が多数に参加していただき、継続して盛大なることを願っております。

の作品が多く、観る人の心に感動を与える作品だと感じました。

コロナ禍ではありますが、書道愛好家の皆さんの笑顔に元気をいただき、次回に向けて頑張ろうという気持ちになりました。

開催して下さいました関係各位の皆様にご感謝いたします。ありがとうございます。

写真部門

展示会を通じて

池田 育兒

この数年間、新型コロナにはさんざん振り回されて来た状況にあります。次々と変異をくりかえし、一向に収まらない。政府や県は共生していくことを選んだと思いますが、コロナはやはり恐く、感染対策は油断できません。

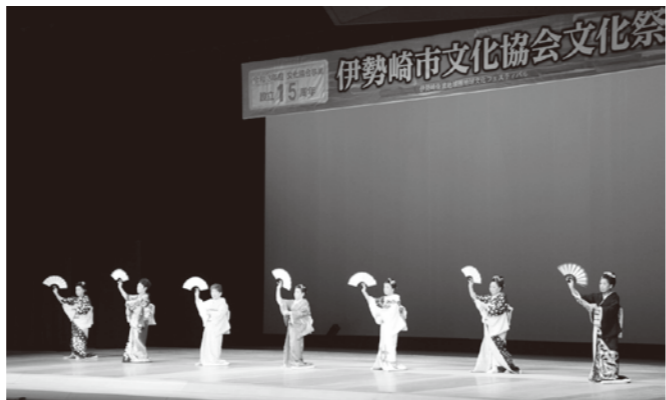
各市町村では夏祭り、花火大会などイベントが開催されてきます。スナック派のカメラマンにはようやく巡ってきた活躍の時、これから素晴らしい作品の数々を見せて頂けることとしましょう。楽しみにしています。

近頃は文化協会所属の写真クラブ写真展も開催されています。ぜひ見に行きましょう。撮影場所を聞いたり、撮影方法を教えていただいたり作品作りの一助となると思います。



自然とのふれあいや人々との出会いが、人格を磨いてくれます。異常な気象で物事が思うように進まないこともありませんが、いろいろな災害から身を守ることを考えていく時代、でも写真は撮り続けたい！





舞台部門

伊勢崎市文化協会文化祭を終えて

川島 和美

春暖の候、寒さも緩み少しずつ春の気配を感じ始める季節となりましたが、新型コロナウイルスの影響で経済は勿論のこと何もかもがストップ状態！「早くこの暗闇の状態から抜け出さなくては、心も体もすっかり弱ってしまう。このままでは、舞台を通して生まれる人との交流がなくなってしまうのでは？」そんな先の見えない時代に、どうすれば勇気と希望を持って一歩踏み出すことができるのか？

など毎日のように心の葛藤が続く不安が募るばかりで、このままの状態が続いたら暫くはリニューアル後の新しい文化会館で日本舞踊を披露することさえも、ままならないのでは？と思いついておりましたところ、邦楽舞踊部門会議の時に事務局様から「今回の文化祭を実施するにあたりましては十分な感染防止対策を徹底したうえででの開催になります。」ということをお伺いしましたので、参加決意させていただきました。

お客様がご来場くださり、感無量！胸の高鳴りを抑えきれませんでした。
また、式典及び令和三年度文化協会功労者表彰式は、日程と会場が急遽変更となりましたが、皆様のご協力により無事に執り行うことができました。
今回の文化祭に、コロナ禍の中お越しいただいたお客様を始め、事務局様、文化会館職員皆様のご協力ご支援によりまして三日間何事もなく無事開催できましたことは、私達邦楽舞踊部門にとっても、ようやく桜の蕾が開き始めたような明るい兆しを感じられましたことに、深く感謝申し上げます。
しかしながら、今年の文化祭はコロナ禍という最悪の条件の中での文化祭でありましたため、止むを得ず参加を断念された部門の方々とご一緒できなかったという残念な気持ち、次回の文化祭で取り戻したいと願っております。また、それ故に携わっていただいた皆様には深い感謝と心よりお礼を申し上げます。

私達は、これからもより一層芸道に精進してまいりますので、引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。
この経験を活かして、一瞬一瞬を大切に創意工夫を重ねて継続していかれたらと思う次第でございます。

早く曇りのない清々しい時代が訪れることを願って、私の挨拶とさせていただきます。

音楽部門

今年こそは音楽祭を

柴崎 登起子

コロナ感染が発生して約三年の月日が流れました。数年前の「伊勢崎市市民音楽祭」の明るい歌声等が懐かしいです。

しかし、令和四年に入ってもコロナはB A 5に変異して猛威を振るっています。あるクラス教室では人数を半々にしてマスクを着けて、私達オカリナ教室では透明な衝立を前、両横に立て、フェイスマスクのような物を着けて練習をした時期もありました。それぞれの教室でも感染予防の創意工夫をしています。私達の生活様式が進化するたびに新たな病原体が潜んでいるようです。ウィズコロナの時代に入ってきました。感染予防をしながら十一月の「音楽祭」が笑顔で開催出来ることを願っています。

歌謡部門

思い出浮ぶ発表会

船戸 省三郎

伊勢崎市文化協会は、今年度は設立十五周年目の節目の年、市観光課を中心に年度当初から、伊勢崎佐波地域圏文化フェスティバル兼令和三年度伊勢崎市文化協会文化祭を十五部門合同で令和四年三月十九日から二十一日の三日間計画準備してまいりましたが、発表会直前に残念ながら部分開催となり我が歌謡部門もプログラムまで作成、万全の態勢で準備しておりましたが、先の見えぬコロナ禍、会員の安心安全を第一に協議し不参加を決定いたしました。

歌謡部門の発表会は令和二年二月九日第二十七回を最後にこの二年間、コロナ禍に振り廻され中止に追い込まれております。人と人をつなぐコミュニケーションの場、共有できる価値観、地域や各種団体との交流も本当に少なくなつたことを痛切に感じております。日々の生活の中で心を癒してくれるのは歌でございます。

歌唱指導して下さっている先生の元で練習に練習を重ね、晴れの舞台で歌い馴れた懐かしい歌、新曲に挑戦し、モニター画面にくぎづけの出演者。歌に合わせた衣装でスポットライトを浴び歌っている姿や観客とステ-



ジとの一体感をこの二年間味わうことができませんでした。
今後の目標は、いつでもいつでも通り発表ができるよう、歌唱指導して下さい各会長さんに感染防止策を講じていただきながら歌唱指導よろしくお願ひしつ一日も早い新しいステージに立てるよう会員一丸となり、頑張つてまいります。

邦楽舞踊部門

コロナ禍の中での発表会を終えて

石倉 優美子

桜の蕾もほころび始める、ようやく春めいてまいりました。しかし、一歩外に出た途端新型コロナウイルスの影響で日常生活が脅かされ、自粛せざるを得ない状況です。

発表会も、実施すべきか中止すべきか苦渋の決断を迫られました。役員、実行委員の方達と会議を重ね邦楽舞踊部門としては、どうすべきか色々考え悩んだ末に実施の方向に決定いたしました。その時は本当に安堵いたしました。

しかし、実際に実施することになりまして、コロナ対策に細心の注意を払わなければなりません。



それはとてつもなく大変なことのように思います。皆様のご協力なくしては実施することは到底できません。出演者の皆様、会場にお越しいただき、皆様、開催にあたり影で支えて下さり、また文化会館の皆様、そして事務局の皆様、本当に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。おかげ様で大勢の皆様喜んでいただけましたことは、ひとえに皆様のお力添えがあったからこそと思っております。無事に舞台を終えられたことは出演者にとりまして一生忘れられない思い出の舞台となったのではないのでしょうか。本当に心より嬉しく思います。これからも、私達「邦楽舞踊」は古典を守りながら新しいことにも挑戦しつつ、皆様に喜んでいただけよう努力を重ね、「舞」の心を大切に日々精進してまいります。

吟剣詩舞部門

コロナ禍に負けず文化活動を

関 勝己

相変わらずのコロナ禍です。第七波に突入しました。不安や心配のない方はいないでしょう。そのような中、私たちはやる意欲を維持しながら制約のもとで活動を続けてきました。令和三年度三月の文化祭は、残念ながら私たちの吟剣詩舞部門のほか舞台部門も参加を断念いたしました。可能な範囲での開催は意義もあったと思います。

しかし、長い歴史の中で、人間はいろいろなウイルスの発生に



コロナウイルスの一日も早い収束を願い、来年の発表会が笑顔で迎えられることを願うばかりです。

諸芸部門

コロナ禍と文化協会活動

小保方 重吉

諸芸部門の事業開催は、例年二月の第一土曜日に開催されてきました。諸芸部門中、囲碁会三団体と、マジシャンクラブが同時に行っていました。しかし、この時期は冬の場の最も寒い時期であり、風邪やインフルエンザの流行時期で、ドタキャンする人が多く、運営に支障を来すことから、開催時期の変更を文化観光課に要望していただきました。ところが、各部門の開催予定が一年前に理事会で決定された会場予約も確保が難しい状況でした。

しかし、事業開催を効率的に行うには時期の変更が急務と判断し、強く事務局と交渉し、とりあえず令和二年の三月開催となり、三月十八日には最終打合せを行い、大会を待つばかりでした。しかし、この時すでに新型コロナウイルスの感染拡大が報道されており、三月の開催が不安となっていました。その後、感染は急速に拡大し、ついに中止をやむなく決断いたしました。感染はその後、全国的に世界的に拡大しパンデミックとなりました。その後、第二波から第五波へと繰り返し、延期された東京五輪・パラリンピックもこの渦中で無観客という方法で、

民謡民舞部門

合併十五周年記念文化祭を終えて

大谷 ヒデ子

思った以上に長く続いてしまっているコロナ禍の中で、民謡界も本当に淋しい思いをしています。せつかくお稽古をしていても発表する機会がなく、また、会場や何かの都合で止むなく休みになってしまったり、三年も続く高齢化が進む民謡界の皆さんも、また三つも年をとってしまいい困ったものです。

伊勢崎市文化協会合併十五周年記念文化祭も我々民謡民舞部門はマイクを使って唄うのが多いため中止になってしまいました。寸前まで期待しておりましたが、残念でした。

でも、日舞と洋舞の発表を見学させていただき、皆さんがいきいきと、そして元気に踊る姿に感動いたしました。来年こそ民謡民舞も舞台で発表したいと願っています。群馬の民謡、そして全国の素

打ち勝つてきました。現状、なかなかコロナの収束は見えませんが、一人ひとりが細心の注意をしながら行動をしていきましょう。先人の皆さんから受け継がれた、日本古来の貴重な伝統芸能を絶対に消すこと無く維持し、継承をしていかなければなりません。コロナに負けず頑張ろう！

行われました。ワクチンも開発され、収束が期待されましたが、新型コロナウイルスは変異を繰り返し、第六波へとその猛威を發揮しています。新型コロナウイルスの影響は文化協会の活動にも多大に影響し、すべての活動が制限されております。事業開催はもとより、普段の公民館等での活動も使用制限が相次ぎ、全く活動ができない状況であります。



そんな中でこんな処にも影響が出ていくと知りました。毎回大会観戦記を掲載していただいている上毛特選甚ですが、囲碁の大会が各地で開催ができないため、取材先が不足しているのと、急遽対局依頼があり、予期せぬ新聞掲載となりました。いまだに先行きが見えないコロナ禍でありますが、ワクチンや経口薬も開発され、収束への期待もあります。コロナとの付き合いはまだまだ続くようですが、何とか文化協会の活動が継続され、高齢化社会の文化活動が健康寿命の支えになることを祈っています。

郷土芸能部門

不慣れにて失礼しました

菊池 広文

郷土芸能部門では、長年実行委員長を務めて来られました糸井清春さんが体調を崩され、任期中でしたが退会することになってしまいました。副委員長の務めとして代行させて頂きましたが、不慣れにて皆様には大変ご迷惑をおかけしました。年間に予定されておりました行事はコロナ禍により去年に引き続いて全て中止となってしまいました。各行事とも出演に意欲的だった団体の皆様もいらっしやっ



晴らしい民謡を少しでも後世に伝えられるよう、私ども民謡をこよなく愛する仲間も少しでも長く続けられるよう体に気をつけてこれからの稽古に励んでいきたいと思っております。

洋舞部門

コロナ禍での舞台に立ち

上岡 郁美

コロナの流行から三年が経過しました。当初は、コロナだからダメとか、できないとか？ただ泣き言を理由にしていたことに



た中で大変申し訳ありませんでしたが、安全第一であるとの意見が大多数でありましたので、ご理解のほどお願いいたします。令和四年度もなかなか感染者が減らず、コロナとの共生をしていかなければならない情勢ですが、市長や協会長もイベントの再開に前向きであるようですので、伊勢崎市や文化協会と連携を取り、感染対策をしっかり行いながら少しずつ行事が再開できたと思っております。加盟各団体の皆様には地元での郷土芸能の伝承ともどもご協力の程よろしくお願いいたします。

令和三・四年度新規加入団体

- 令和三年度 洋舞 レクダンス パーブル 小澤 富士子
 - 令和三年度 写真 フォトクラブ遊 柳澤 満之助
 - 令和四年度 洋舞 フラナニロケ 清水 弘美
 - 令和四年度 洋舞 ククナ 中里 陽子
 - 令和四年度 歌謡 TUTUJIKLUB 米山 とみゑ
 - 令和四年度 吟剣詩舞 芙蓉会 小澤 まち子
- 以上、六団体が令和三・四年度新たに伊勢崎市文化協会に加入いたしました。

伊勢崎市文化協会への新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみたいかがでしょうか。

《入会資格》 入会しようとする団体は、十名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

《部門》

- ①美術 ②書道 ③写真 ④華道
- ⑤茶道 ⑥文学 ⑦音楽 ⑧歌謡
- ⑨邦楽舞踊 ⑩吟剣詩舞 ⑪民謡民舞 ⑫郷土芸能
- ⑬洋舞 ⑭自然 ⑮諸芸

皆様の活動内容にあった部門にご加入の希望をお願いいたします。の十五部門があります。

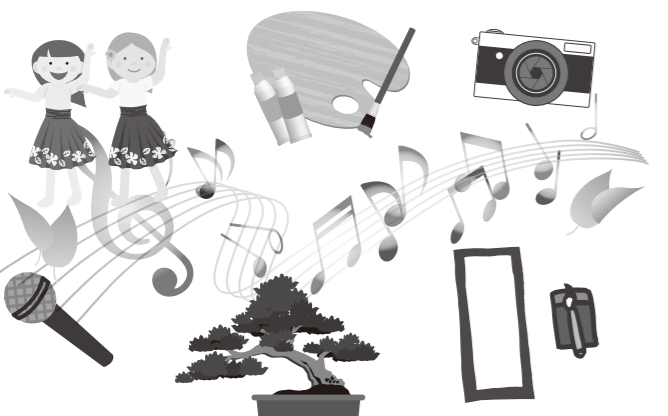
【個人がいずれかのサークルに入りたい場合】

各サークルへの入会希望者事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

お問い合わせ・入会の申し込み先

伊勢崎市文化協会事務局(伊勢崎市役所産業経済部文化観光課内) TEL 0270・27・2759

	団体名	代表者	会員数
郷土芸能	30 上州国定睦	井上 潤	10
	31 福島町八木節保存会	本木 栄一	23
	32 富塚町銭太鼓愛好会	岡田 きみ子	27
	33 群天星 (ムリティンブシ)	稲川 真寿美	24
	合計		963
洋舞	1 JAあずまフラクラブ	細野 京子	10
	2 フォークダンス境	坂本 悦代	7
	3 レクダンス三郷	永島 トシ江	15
	4 ハイビスカス豊受	藤本 清子	11
	5 フラナニ・ブアリリレフア	町田 かよこ	10
	6 フラナニ・ハイビスカス赤堀	金井 比呂子	10
	7 ヒナノ	下田 かず江	10
	8 ピカケ伊勢崎	春川 庸子	13
	9 Puanani	上岡 郁美	14
	10 レイモミ	深澤 はる代	10
	11 三郷小町	平田 敏江	14
	12 ロゼラニ	多賀谷 道代	6
	13 フラサークルパカラナ	宮野 久美子	10
	14 'Ohana Lōkahi	上岡 文子	60
	15 名和ナイスフラレディース	松原 政子	18
	16 フラグループ Nā Lei	井上 智子	10
	17 カプア	阿久津 鈴枝	12
	18 レクダンスKSG	八田 京子	10
	19 Pasion Peru	竹原 ドラ	20
	20 レクダンス パープル	小澤 富士子	15
	21 ククナ	中里 陽子	15
	22 フラナニ ロケ	清水 弘美	10
	合計		310
自然	1 日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	13
	2 伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	17
	3 伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	96
	4 伊勢崎市蘭蕙愛好会	久保田 正	8
	5 伊勢崎山草会	島津 あけみ	11
	6 伊勢崎菊花同友会	小島 勝	18
	7 境山草会	瀬井 明	17
	8 うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
	合計		190
諸芸	1 あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19
	2 伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	18
	3 伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12
	4 伊勢崎佐波囲碁会	村岡 武雄	60
	5 境囲碁研究会	天田 育宏	20
	合計		129
総計 190団体 4,816名			



	団体名	代表者	会員数
吟剣詩舞	1 寿流日舞 詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
	2 寿流日舞 詩舞 鶴久紀会	原 けい子	20
	3 心彰流 愛吟詩道会 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
	4 吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	50
	5 吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	30
	6 美扇流 鶴緑会	金井 キヨミ	4
	7 吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15
	8 吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	14
	9 吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10
	10 吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	村田 勇	22
	11 心彰流 剣舞剣彰会	齋藤 ひとみ	15
	12 岳心流 東栄諏訪美会	諏訪 勝美	12
	13 心彰流 あずま吟詠会	小暮 利明	15
	14 心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子	10
	15 菊水流 菊崇会	田村 雅代	8
	16 芙蓉会	小澤 まち子	16
	合計		264
民謡民舞	1 旭星会	高野 邁	10
	2 旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	10
	3 慎星会	鎗木 慎紀子	13
	4 天秋会	大谷 ヒデ子	10
	5 天秋会江原教室	江原 昌代	10
	6 秀月会	堀川 茂	10
	7 山輝稚会	森村 米多	10
	8 マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	16
	9 登三善会	浅沼 利子	10
	10 宮子民謡会	川井 やす子	5
	11 優乃会	水島 正枝	7
	合計		111
郷土芸能	1 八斗島民芸保存会	松本 好夫	25
	2 宮子町八木節保存会	井上 清行	20
	3 伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	松島 カツイ	18
	4 神谷八木節会	高木 栄	25
	5 赤堀郷友会	金子 英保	18
	6 田下八木節会	今井 照彦	25
	7 上武士八木節同好会	高山 健	17
	8 上刈名八木節保存会	長沼 市治	17
	9 百々親友会八木節部	菊池 広文	57
	10 伊勢崎和太鼓	半田 孝	20
	11 荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20
	12 木遣り保存会	関口 二三司	50
	13 千本木龍頭神舞保存会	大和 弘幸	27
	14 南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35
	15 西久保三おはやし保存会	常木 静子	12
	16 上州あずま太鼓会	須賀 正文	36
	17 氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30
	18 下刈名獅子舞保存会	大橋 増一郎	18
	19 東新井獅子舞保存会	柄本 史朗	29
	20 東町囃子保存会	岡本 宇正	50
	21 女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	36
	22 栄町祭礼囃子保存会	鉄川 房伸	124
	23 三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	34
	24 上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46
	25 剛志民謡保存会	森村 清志	17
	26 赤堀ひびろも太鼓	吉田 和義	12
	27 上州八木節西小保方匠	小高 友裕	11
	28 美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30
	29 稲間組屋台・屋台囃子保存会	日野原 宗雄	20

令和4年度 伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和4年11月1日現在)

	団体名	代表者	会員数
音楽	1 伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	48
	2 アイオーしんぎん音楽部	櫻井 綾花	16
	3 ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	4 早川歌謡バンド	広瀬 茂男	25
	5 合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	6 伊勢崎混声合唱団	矢内 三四卯	19
	7 伊勢崎コーラス・ノイエ	今 啓子	32
	8 境女声コーラス水仙	船戸 貴代子	26
	9 コーラス・ヴィオラ	志村 美子	16
	10 伊勢崎第九を歌う会	櫻井 正彦	80
	11 混声合唱団 風	池田 昌子	22
	12 あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	18
	13 凜	平田 康子	16
	14 オカリナ・響	柴崎 登起子	15
	15 コール ぼこ・あ・ぼこ	田中 悦子	28
	16 あんさんぶる22	下田 清子	12
	合計		436
歌謡	1 あずま白樺会	船戸 省三郎	25
	2 櫻桃会	植木 昭一	52
	3 ひまわり歌謡好友会	川田 キチノ	41
	4 ミュージックさかい	田村 文司	11
	5 清水歌謡クラブ	前野 政一	92
	6 白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	105
	7 大国歌謡クラブ	荒井 通好	60
	8 清水歌謡教室	清水 巖	95
	9 植木歌謡教室	植木 春江	18
	10 ラッキーなかよし会	伊藤ひろみ	26
	11 TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	28
	12 歌謡教室ひばり会	田島 初美	15
	13 歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
	14 TUTU川クラブ	米山 とみ彥	10
	合計		609
邦楽舞踊	1 伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	120
	2 祐妃会	川島 かずみ	20
	3 悦紅会	飯塚 悦子	10
	4 扇優会	石倉 優美子	22
	5 いづみ会	藤枝 敏子	8
	6 吉三会	飯野 弘美	10
	7 玉藻会	佐俣 玉江	4
	8 若駒会	星野 良枝	10
	9 舞踊松葉会	田所 陽子	12
	10 琴謡会	井上 明子	8
	11 美也珠会	小島 美也子	10
	12 日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	26
	13 樹凰会	小林 淑子	10
	14 久紀の会	川端 和子	20
	15 ことほぎ	尾内 能利江	11
	16 好風会	角田 庸子	10
	17 やなぎ会	高橋 ゆり子	8
	18 いせさき能実行委員会	齋藤 美智子	11
	合計		330

	団体名	代表者	会員数
美術	1 紫墨会	児島 貞二郎	13
	2 境水彩画会	田島 敏宏	16
	3 全日本愛瓢会 群馬県支部	原 角雄	50
	4 境フラワーアレンジメントサークル	齋藤 美智子	33
	5 フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	15
	6 原ノ城窯	鈴木 茂	13
	7 天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
	合計		150
書道	1 清月書道会	福田 令子	40
	2 書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3 書芸研究会	北爪 真里子	5
	4 円かな書会	栗原 ウメ子	14
	5 玉葉会	石橋 満津枝	17
	6 昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7 祥山書会	神宮 まり子	11
	8 木村かな書道会	木村 和子	13
	9 書宝会	松本 近史	10
	10 雪月華書道会	高野 千春	10
	11 草友会	高柳 託治	9
	12 大蛙洞書道会	大貫 八生	17
	13 東光書道会	新井 哲郎	40
	14 洵名印社	大貫 勝利	10
	15 翠香会	根岸 幸子	23
	16 書道研究聖筆会	星野 明	10
	17 利根書会	町田 直美	17
	18 松友会	井田 真一	14
	合計		340
写真	1 写団国定	神田 武	7
	2 写団チングルマ	橋本 智明	15
	3 ほのぼの写真クラブ	前野 龍一	8
	4 P.C アペックス	池田 育兄	14
	5 写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	50
	6 [写心塾]A.P.C.	秋山 曄	11
	7 フォトクラブ遊	柳澤 満之助	10
	合計		115
華道	1 伊勢崎いけばな協会 桜	長谷川 恭子	100
	2 伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	100
	合計		200
茶道	1 伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	遠藤 好子	106
	2 伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 澄子	120
	3 伊勢崎茶道会表千家	加藤 茂美	150
	4 伊勢崎茶道会裏千家	萩原 豊子	100
	5 伊勢崎茶道会江戸千家	有川 よし子	30
	6 煎茶道東阿部流	新井 幸子	22
	7 煎茶道方円流	丹波 真知子	20
	合計		548
文学	1 みさと短歌会	吉沢 典子	6
	2 境図書館短歌会	光山 半彌	18
	3 群馬童話研究会	木村 幸江	15
	4 鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	45
	5 紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	6 伊勢崎市民俳句会	真鍋 俊男	17
	合計		121

令和3・4年度 伊勢崎市文化協会役員名簿

敬称略

役職	氏名	所属部門	役職	氏名	所属部門
会長	新井 哲郎	書道	常任理事	吉沢 典子	文学
副会長	児島 貞二郎	美術	〃	木村 幸江	文学
〃	丸橋 孝男	書道	〃	柴崎 登起子	音楽
〃	関 勝己	吟剣詩舞	〃	田中 悦子	音楽
〃	川島 和美	邦楽舞踊	〃	植木 昭一	歌謡
書記	石倉 優美子	邦楽舞踊	〃	船戸 省三郎	歌謡
〃	長谷川 恭子	華道	〃	原 けい子	吟剣詩舞
会計	永島 トシ江	洋舞	〃	大谷 ヒデ子	民謡民舞
〃	菊地 正之	諸芸	〃	江原 昌代	民謡民舞
監事	茂木 徳子	美術	〃	菊池 広文	郷土芸能
〃	有川 よし子	茶道	〃	柿沼 盈	郷土芸能
常任理事	小倉 良枝	写真	〃	細野 京子	洋舞
〃	池田 育兄	写真	〃	金井 由一	自然
〃	永島 治子	華道	〃	阿久澤 嘉昭	自然
〃	丹波 真知子	茶道	〃	村岡 武雄	諸芸

伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

敬称略

No.	役職	氏名	部門	所属
1	委員長	石田 英生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会
2	副委員長	吉沢 典子	文学	みさと短歌会
3	委員	鈴木 茂	美術	原ノ城窯
4	〃	福田 令子	書道	清月書道会
5	〃	池田 育兄	写真	P.C アペックス
6	〃	松永 幸江	華道	伊勢崎いけばな協会 松
7	〃	有川 よし子	茶道	伊勢崎茶道会江戸千家
8	〃	柴崎 登起子	音楽	オカリナ・響
9	〃	船戸 省三郎	歌謡	あずま白樺会
10	〃	飯塚 悦子	邦楽舞踊	悦紅会
11	〃	鎬木 慎紀子	民謡民舞	慎星会
12	〃	金子 英保	郷土芸能	赤堀郷友会
13	〃	藤本 清子	洋舞	ハイビスカス豊受
14	〃	青木 稔	自然	伊勢崎市蘭蕙愛好会
15	〃	小保方 重吉	諸芸	あずま赤堀囀基愛好会

令和3年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿

順不同・敬称略

No.	賛助会員名	代表者等	住所	電話番号
1	カラオケスタジオ ミナミ	南 和夫	伊勢崎市境上矢島218	0270-76-4129
2	書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	伊勢崎市馬見塚町3262-13	0270-32-8472
3	株式会社シンエイ	清水 秀明	伊勢崎市連取町2355-5	0270-24-7245
4	三橋寿司	阿久津 幸次	伊勢崎市昭和町4071	0270-23-8069
5	カワバタ設計	川端 俊明	伊勢崎市八幡町45-2	0270-25-8756
6	有限会社保坂工務店	保坂 正男	伊勢崎市波志江町3667	0270-24-1905
7	佐波伊勢崎農業協同組合 あずま支店	代表理事組合長 森村 孝利	伊勢崎市田部井町二丁目404-1	0270-62-0011
8	西ひとみ社会保険労務士事務所	西 ひとみ	伊勢崎市田部井町一丁目1166-20	0270-61-0570
9	有限会社平井産業運輸	磯 定雄	伊勢崎市平井町1082	0270-62-4102
10	株式会社桜井土建	櫻井 明江	伊勢崎市三室町6148	0270-62-3650
11	株式会社田村建設	田村 知幸	伊勢崎市小泉町450-4	0270-63-3333
12	栗原軽貨物	栗原 章二	伊勢崎市大手町26-4	0270-25-1390
13	株式会社アクト印刷	阿久津 泰弘	伊勢崎市下触町911-1	0270-62-0460
14	東光書道会	新井 哲郎	伊勢崎市境米岡685	0270-74-0533
15	有限会社田澤商店(セブンイレブン)	田澤 透	伊勢崎市田部井町二丁目乙1262	0270-62-0018
16	東観光バス株式会社	中島 俊幸	伊勢崎市境上洲名1186	0270-76-5100
17	細谷印刷有限公司	細谷 昌孝	伊勢崎市今泉町二丁目939-5	0270-25-0193
18	有限会社諏訪精工	諏訪 勝美	伊勢崎市国定町二丁目2065-3	0270-62-0126
19	ほしの呉服店	星野 勝正	伊勢崎市国定町一丁目1250-10	0270-63-0144
20	有限会社飛翔	西村 敬右	伊勢崎市今井町410-2	0270-25-2018
21	華乃会	茂木 徳子	伊勢崎市上田町171-23	0270-63-1627
22	有限会社ワイズ・プランニング	山口 善弘	伊勢崎市今泉町一丁目1099	0270-24-5033
23	ギフトPR品のハロー商事	佐藤 剛史	伊勢崎市下蓮町253-2	0270-32-6096
24	清水生花店	清水 秋夫	伊勢崎市三光町7-23	0270-26-8741
25	紫墨会	児島 貞二郎	伊勢崎市昭和町1950-1	0270-25-4025
26	国定窯	関口 宗平	伊勢崎市上田町172-10	0270-62-2881
27	好風会	角田 庸子		
28	ことほぎ	尾内 能利江		
29	川島美術印刷株式会社	川島 和美	伊勢崎市中町760	0270-25-8111
30	川島 和美	川島 和美	伊勢崎市今井町377	0270-26-7580

令和4年度 伊勢崎市文化協会 功労表彰被表彰者名簿

長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

敬称略

部門	所属団体	所属	部門	所属団体	所属
美術	境水彩画会	正田 美代	吟剣詩舞	心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子
書道	清月書道会	福田 令子	民謡民舞	秀月会	堀川 茂
写真	写団チングルマ	橋本 智明	郷土芸能	三郷八木節保存会	糸井 清春
華道	古流松藤会	星野 和子	洋舞	ブルメリア	柳澤 節子
文学	みさと短歌会	小倉キヌ子	自然	伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司
歌謡	植木歌謡教室	植木 春江	諸芸	境囀基研究会	小谷 雅春
邦楽舞踊	いづみ会	倉林千恵子			